

保 育 理 念

- 子どもの最善の利益
- 子どもの福祉の増進

保 育 の 目 標

- 生き生きとあそぶ子
- 自分のことは自分でしようとする子
- 相手の気持ちがわかる子

一日の生活の大半を過ごす保育所では、子どもたちの依存したい気持ちと独立したい気持ちのあるがままを温かく受け入れて、くつろいで生活させる中で、子どもの最善の利益を考慮し保護者の協力のもとに、意欲と思いやりのある心豊かな子どもに成長するよう援助していきます。

環 境

子どもたちは、自ら自分のまわりの環境に働きかけ、遊びや活動をする中で成長していきます。環境とは、子どもをとりまく大人や友達、まわりの自然など子どもにかかわるものをいいます。

- ・危険がなく、のびのびと安定した生活ができるようにします。
- ・子どもの好奇心や興味がわくようにします。
- ・子どもの発達に応じ、能力を発揮させます。

これらを、子どもにとって良い環境と考えています。保護者と力を合わせ、子どもたちに良い環境を提供していきたいと思ひます。



あそび

遊びは、子どもの人格形成に大切な意味をもっています。

- ・自分のしたいことを見つけて遊ぶ中で、自発性が育ちます。
- ・同年齢や異年齢の友達と一緒に遊んだりけんかをしたりする中で、人との付き合い方を学びます。
- ・自然などいろいろな直接体験をする中で、感性が育ちます。
- ・繰り返し遊ぶ中で、思考力が育ちます。

子どもの生活は遊びが中心で、遊びは子どもが育つうえで大切です。意欲をもって遊ぶためには、情緒の安定が大切であり、信頼する大人の支えや見守りが必要です。

習 慣・態 度

<基本的な生活習慣>

生活していくうえで大切な食事、排泄、睡眠、着脱などは、まわりの大人の手助けで、子ども自身が身につけていきます。

<社会的な生活習慣>

「おはようございます」「こんにちは」などの挨拶や、食事のマナーなどは、まわりの大人がよい手本となり、してみせること、また交通ルールや集団生活のきまりなどは、大人が子どもにわかり易く教えていくことで身につけていきます。

<道徳性>

「ありがとう」や「ごめんなさい」といった感謝の気持ち、思いやり、正義感などは、相手の立場に立ってのはじめてその意味がわかり、行動が成り立ちます。これは言葉や押しつけでは身につけません。まわりの大人の良い環境の中で、子どもに考えさせていきます。

人間として生活していくうえで大切なこれらの生活習慣態度を、保護者と手を取り合って育てていきたいと思ひます。

保育の中で大切にしていること

0 歳児

- 健康状態の細かい観察と、一人一人の生活のリズムを重視し、生理的欲求を十分満たして、快適に生活できるようにしていきます。
- 一人一人の甘えや依存欲求を満たし、安定した心で過ごせるようにしていきます。
- 一人一人の発育・発達状態に合わせて離乳を進めていきます。
- 寝返り、はいはい、伝い歩きなどが、それぞれの時期に無理なくできるよう環境を整え、援助していきます。
- 優しく表情豊かに話しかけたり、あやしたりして、喃語の発声や豊かな反応を促します。
- まわりの物を見たり、音を聞いたり、玩具をいじったりして、外界に対する好奇心や興味が育つようにしていきます。

※喃語…乳児のまだ言葉にならない段階の声



1 歳児

- 一人一人の甘えや依存欲求を満たし、安定した心で過ごせるようにしていきます。
- 手助けしながら食事や排泄など、自分でしようとする気持ちを育てていきます。
- 歩く、登る、くぐる、押すなど、体を動かすことを楽しませていきます。
- 身の回りの様々なものを自由にいじって遊ばせ、外界に対する好奇心を育てていきます。
- 話しかけたり、片言に答えながら、言葉を使うことを楽しむようにしていきます。

2 歳児

- 一人一人の気持ちを理解し、温かく受け入れて、くつろいで遊ぶことができるようにします。
- 手伝ったり、励ましたりしながら、食事、排泄などの簡単な身の回りのことができるようにしていきます。
- 走る、跳ぶ、登るなど全身を使うあそびや、丸める、めくるなど手や指を使う遊びを楽しませていきます。
- 遊びに加わり子どもの気持ちを受け入れ、友達とのかかわり方を知らせていきます。
- 模倣遊びや、簡単なごっこ遊びの中で仲立ちしながら、言葉のやりとりやリズム表現を楽しむようにしていきます。



3 歳児

- 外遊びなどを十分にすることで、体を動かす楽しさを体験していきます。
- 自分でしようとする気持ちを大切に、手助けしながら、食事、排泄、着脱などが一人でできるようにしていきます。
- まわりの人や友達と触れ合う中で、遊びの楽しさを経験させ、少しずつ約束やきまりを知らせていきます。
- 身の回りの出来事や、自然、動植物などに親しませ、興味や関心を育てていきます。
- 言葉のやりとりを楽しませ、挨拶や自分の思いが言えるようにしていきます。

4 歳児

- 進んで外で体を動かして遊び、様々な動きができるようにしていきます。
- 自分ですることに喜びをもち、身のまわりのことは一人でできるようにしていきます。
- 集団生活を楽しませる中で、きまりの大切さに気づき、守れるようにしていきます。
- 話を聞いたり、様々な経験をしたりする中でイメージを広げ、言葉や絵、音楽などの表現を豊かにしていきます。
- 友達と遊ぶ中で、相手の気持ちがわかるようにしていきます。


5 歳児

- いろいろな運動や集団遊びを、友達と共に取り組み、楽しませていきます。
- 生活習慣や安全などの意味がわかり、危険を避けて行動できるようにしていきます。
- まわりの人々に対する親しみを深め、集団の中で自己主張したり、人の立場を考えたりしながら行動できるようにしていきます。
- 日常生活の中で具体的な体験から、数や文字などに関心を持たせていきます。
- 人の話をよく聞き、相手にわかる話ができるようになり、会話、絵本などを通して想像力を育てていきます。
- 感じたこと、思ったこと、想像したことなどを、様々な方法で表現し、感性を豊かにしていきます。



保育所の生活

<一日の生活>

0・1・2歳児	時間	3・4・5歳児
随時登所 遊び	7:00~	随時登所・あいさつ 遊び
おやつ 遊び	9:30~	(カリキュラムに基づく活動)
食事	11:00~	
	11:30~	食事
	午睡	12:00~
	13:00~	午睡
おやつ	15:00~	おやつ
降所の準備		降所の準備
随時降所 延長保育	18:00~	随時降所 延長保育
	19:00	



<主な年間行事>

4月 入所式、内科健診	10月 遠足、収穫パーティ、内科健診
5月 親子遠足	11月 勤労感謝訪問、歯科検診
6月 歯科検診、保育参観	12月 表現会、クリスマス会
7月 七夕、夏まつり	1月 新年会
8月 プールあそび・水遊び	2月 節分、保育参観
9月 運動会	3月 ひなまつり、お別れ会、修了式
* 月の行事・・・ 誕生会、避難訓練、身体計測	



子どもたちの生活経験を広げ、豊かな心を育てるために、行事を取り入れています。保護者参加の行事もありますので、ご協力をお願いします。
(各保育所によって実施月や行事内容が多少異なることがあります。)



<おねがい>

1. 送り迎え

欠席、遅れてくる時や、送り迎えがいつもの方と異なる場合は、必ず電話などで連絡してください。

2. 食事

主食、副食、おやつがです。

*管理栄養士による質、量、栄養を十分に考慮した献立をもとに、食事を作っています。朝食は、1日の活動源となりますので、食べさせてください。

3. 午睡

・年間を通して行っています。(各保育所によって異なります)

・布団を用意してください。

*長時間集団生活をし、カいっぱい遊ぶ子どもたちには午睡はとても大切です。

4. 病 気

・感染症にかかった時は、医師の指示に従ってください。

・薬を持ってくる時は、一回分だけに名前を書き、「くすりの連絡票」を添え、直接保育士に手渡してください。

・子どもは自分の体の調子が悪くてもうまく伝えられないので、少しでも様子が違うときは、登所時にお知らせください。

・発熱や下痢、嘔吐など、健康上異常が見られた時は連絡します。

5. 清 潔

・爪が長いと危険です。いつも心がけて切ってください。

・髪、手足など常に体の清潔に気をつけてください。

6. 服 装

・活動しやすいものを着せてください。(制服はありません)

・持ち物、衣類にはすべて名前を書いてください。

